




タイトル「2010年度 教育学部シラバス」、フォルダ「2010年度 教育学部シラバス-学校心理」
シラバスの詳細は以下となります。




科目名	学習と評価の実践演習		
担当教員	教員未定(学校心理)		
対象学年	3年	クラス	01
講義室	S106	開講学期	後期
曜日・時限	金4	単位区分	選択
授業形態	演習	単位数	2
受講対象	初等教育教員養成課程学校心理選修選択A(SA)、国際理解教育課程国際教育専攻選択B(SB)、人間社会科学課程カウンセリング専攻選択B(SB)		
備考			
ねらいと目標	<p>教育評価と教育測定は、教育心理学の中で重要な位置を占める内容であり、また、学校教育の中ではきわめて基本的な活動であるとされている。したがって、評価と測定について理解を深め、また実践的な知識を修得することは、教職をめざす者にとつての必須条件なのである。</p> <p>本講義のねらいは、教育評価と教育測定の理論と実践方法を学習することである。受講後の学生は、テストの作成・分析に関する理論と手法を身につけていることが望ましい。さらに、本講義の学習成果に基づき、関連分野である教育心理学等の学習成果と合わせて、「よい測定・評価とは何か」「よいテストとは何か」についてより深く考える態度を身につけてほしい。</p>		
内容	<p>まず、教育測定と教育評価の内容について、理論・概念を講義する。次に、教育測定を中心に、測定の方法、測定の妥当性と信頼性、テストの作り方、テストの採点実践、項目分析のしかたなどについて演習を実施する。</p> <p>なお授業時間外学習としては、以下のことを行っておくのが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習と復習、課題の作成 ・関連分野(教育測定学、データ処理など)の発展学習。参考文献を読んでおくこと。 		
テキスト	<p>以下のテキストを用いる。授業中に参照するので、毎回持参すること。</p> <p>■池田 央(著)「テストの科学-試験にかかわるすべての人に-」、株式会社教育測定研究所、¥2,993円(ISBN 978-4-9902879-0-0)</p> <p>※HPからの購入のみ: 万能書店 http://www.d-pub.co.jp/cgi-bin/bannou/shop/bookdetail_id.cgi?bookid=ad692</p> <p>また、必要に応じて授業資料を配付する。配布にはWebClassを併用する場合があるので、受講者はWebClassに登録すること。</p>		
参考文献	<p>以下は必携ではないが、授業内容をより理解するために、また、発展学習として読んでおくことが望ましい。</p> <p><教育測定・教育評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ■大野木 裕明(著)「テストの心理学」、ナカニシヤ出版、¥2,100(ISBN-10: 4888482187、ISBN-13: 978-4888482189) ■田中 耕治(編)「よくわかる教育評価」、ミネルヴァ書房、¥2,625(ISBN-10: 4623043339、ISBN-13: 978-4623043330) ■若き認知心理学者の会(著)「認知心理学者 教育評価を語る」、北大路書房、¥2,625(ISBN-10: 4762820644、ISBN-13: 978-4762820649) ■繁樹 算男(編著)「心理測定法」、放送大学教育振興会、¥2,520(ISBN-10: 4595587783、ISBN-13: 978-4595587788) ■吉田 寿夫(編著)「心理学研究法の新しいかたち(心理学の新しいかたち3)」、誠信書房、¥3,570(ISBN-10: 4414301548、ISBN-13: 978-4414301540) ■田中 耕治(著)「教育評価」、岩波書店、¥2,625(ISBN-10: 4000280503、ISBN-13: 978-4000280501) <p><データ処理></p> <ul style="list-style-type: none"> ■岸 学・吉田 裕明(共著)「ツールとしての統計分析-Excelの基本からデータ入力・集計・分析まで-」、オーム社、¥2,520(ISBN-10: 4274067963、ISBN-13: 978-4274067969) <p>その他、授業の進捗状況に応じて、授業中に適宜紹介する。</p>		
成績評価方法	<p>成績評価は、授業期間中の課題(40点満点)、出席(10点満点)、最終課題(50点満点)の合計点数をもとに、東京学芸大学で定められた基準に沿って行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業期間中(平常得点:課題+出席 50点満点)・・・課題内容の充実度および出席状況を評価する。 ・最終(最終課題得点:50点満点)・・・授業で学んだ理論や方法について、より深い理解と考察を求める。 <p>なお、授業期間中の出席が2/3に満たない者は、最終課題の受験資格を喪失するものとする。</p>		
授業スケジュール(展開計画)	回	内容	
	1	オリエンテーション、教育評価と教育測定とは何か	
	2	教育評価の考え方の変遷	

	3	教育評価の方法を分類する(1)
	4	教育評価の方法を分類する(2)
	5	教育評価の新しい動向
	6	測定の妥当性と信頼性(1)
	7	測定の妥当性と信頼性(2)
	8	良いテストとは？
	9	テスト問題の作り方
	10	テスト問題の項目分析
	11	テストの信頼性と妥当性(1)
	12	テストの信頼性と妥当性(2)
	13	テストをテストする(演習)(1)
	14	テストをテストする(演習)(2)
	15	まとめ
授業のキーワード	教育評価、教育測定、妥当性、信頼性、項目分析	
学芸の学びキーワード		
受講補足(履修制限等)	<p>・演習授業に適切な規模(20名)を超えた場合の対応は以下の通りである。 * 標準開設学期生(3年生)および本授業の対象専攻・選修のみ履修を受けつける。 * 抽選を行う。</p> <p>また、履修条件は以下の通りである。 ・心理統計法を履修済みの者のみとする。</p>	
その他	授業資料の再配布や連絡のために、WebClassを利用することがある。受講者はWebClassに登録すること。	

